



Red Hat OpenStack Platform 17.1

Red Hat OpenStack Platform のファイアウォール ルール

必要なポートおよびプロトコルの一覧

Red Hat OpenStack Platform 17.1 Red Hat OpenStack Platform のファイ アウォールルール

必要なポートおよびプロトコルの一覧

OpenStack Team
rhos-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

このドキュメントでは、Red Hat OpenStack プラットフォームのファイアウォールルールおよびネットワークフローを説明します。

目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化	3
RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)	4
第1章 RED HAT OPENSTACK PLATFORM のファイアウォールルール	5
1.1. RED HAT OPENSTACK ネットワークフローマトリクスの使用	5

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、用語の置き換えは、今後の複数のリリースにわたって段階的に実施されます。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。

RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)

Red Hat ドキュメントに対するご意見をお聞かせください。ドキュメントの改善点があればお知らせください。

Jira でドキュメントのフィードバックを提供する

ドキュメントに関するフィードバックを提供するには、[Create Issue](#) フォームを使用します。Red Hat OpenStack Platform Jira プロジェクトで Jira Issue が作成され、フィードバックの進行状況を追跡できます。

1. Jira にログインしていることを確認してください。Jira アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成してフィードバックを送信してください。
2. [Create Issue](#) をクリックして、**Create Issue** ページを開きます。
3. **Summary** フィールドと **Description** フィールドに入力します。**Description** フィールドに、ドキュメントの URL、章またはセクション番号、および問題の詳しい説明を入力します。フォーム内の他のフィールドは変更しないでください。
4. **Create** をクリックします。

第1章 RED HAT OPENSTACK PLATFORM のファイアウォールルール

このドキュメントには、Red Hat OpenStack Platform (RHOSP) ネットワークフローマトリクスへのリンクが含まれています。この情報は、ファイアウォールのルールを定義するのに役立ちます。

このマトリクスには、RHOSP コアサービスとその依存関係がリストされ、それらが使用するポートとプロトコル、および関連するトラフィックフローが説明されています。これには次の列が含まれます。

Service

OpenStack のサービス

Protocol

送信プロトコル

Dest.Port

送信先ポート

Source Object

データのソース

Dest.Object

データの送信先

Source/Dest Pairs

有効な送信元と送信先のペア

Dest.Network

送信先ネットワーク

ServiceNetMap Parent

各サービスに使用するネットワーク種別を決定します。

Traffic Description

トラフィックフローについての説明

1.1. RED HAT OPENSTACK ネットワークフローマトリクスの使用

ネットワークフローマトリクスは、Red Hat OpenStack Platform (RHOSP) サービスとの間のフローを記述するコンマ区切り値 (CSV) ファイルです。



注記

ネットワークフローマトリクスは、一般的なトラフィックフローを記述します。ただし、考えられるすべてのサービスとフローを説明しているわけではありません。このマトリクスで記述されていないフローの中には、運用に欠かせないものもあります。

たとえば、すべてのトラフィックをブロックしてからここで説明されているフローだけを選択的に許可すると、必要なフローが意図せずにブロックされる可能性があります。これにより、トラブルシューティングの困難な問題が発生する可能性があります。

手順

1. 以下のリンクを使用して、マトリクスをダウンロードします。
[Red Hat OpenStack ネットワークフロー](#)

たとえば、リンクを右クリックし、**Save link as** を選択します。

2. ダウンロードしたファイルのファイル名拡張子が `.csv` であることを確認します。たとえば、これが `.txt` の場合は `.csv` に変更します。
3. ファイル内の情報を使用して、ファイアウォールルールの作成に役立てます。これは、`.csv` ファイルを受け入れるスプレッドシートアプリケーションで開いたり、独自のプログラムでアクセスしたりできます。